

演奏で元気を伝えたい

太鼓集団 魁

水野 陽次さん



私たちにとってでちこんかは最高の舞台です。他のイベントなどで演奏を披露したことも数多くありますが、舞台の規模や観衆の数など、でちこんか以上のステージはありませんでした。だから、私たちもお客さんを楽しませたいとの思いから、演奏に力が入ります。お客さんもまた拍手や歓声でそれに応えてくれます。その瞬間はとても気持ちがよくて、お客さんとも一体になることができます。今後も、演奏を通して元気を伝えたいです。

南予で最大のイベント

宇和島市在住

川口 武彦さん(後列右)



私たち家族は、毎年でちこんかを楽しみにしてきて、今回で5回目の訪問になります。子どもたちは鮎・ます・アマゴのつかみ取りを楽しみにしており、毎年水着を着用して来ています。このイベントのことは口コミで知りました。これほど集客力があって、人の活気あふれるイベントは南予では他にないのではないのでしょうか。家族で来ても全員が楽しめるのでちこんかに、来年、再来年も家族そろって来たいと思っています。

私たち鬼北応援隊

笑知朱沙(わらちあさ)

池内 知美さん



私たち笑知朱沙は東京都で手作りのアート作品を作る活動をしています。今回それらを持って初めて参加しました。鬼北町は空気がおいしくて、緑に囲まれた景色も本当にきれいです。人が気さくに話しかけてくれるところにも良い田舎らしさを感じました。でちこんかに参加してみて「愛媛の鬼北町をもっと知ってほしい」と思いました。私たちは今後、愛媛にもこのような素晴らしい町があるのだと全国に発信したいと思っています。

最高の交流の場

鬼北町生活研究協議会

高田 ミサ子さん



私たちは、会員が自分たちの畑で採れた野菜を持ち寄って、揚げ物などの郷土料理を作っています。でちこんかには、多くの出会いや交流があり、私たちの活動の目的「お袋の味を大切に伝統を守る」ということを、たくさんの人に感じていただけます。また会員同士が協力して、料理をしたり販売をしたりするという喜びを感じることもできます。だから、でちこんかは最高の交流の場であり、鬼北町民として自慢の祭典です。